

記入要領

1. 履歴書

- (1) 年号は元号で記入してください。
- (2) 各種年月日は正確に記入してください。
- (3) 「現住所」は、市町村番地まで記入してください。
- (4) 「勤務先」は、勤務先の名称のみ記入してください。
- (5) 「本籍地」は、都道府県のみ記入してください。また、外国籍の方は国名を記入してください。
- (6) 「写真」は、3ヶ月以内に撮影されたものを添付してください。白黒でも結構です。
(新採用のみ必要)
- (7) 「学歴」は、
高等学校卒業以降の全ての学歴について記入してください。
大学については学科名まで記入してください。
大学院については次のように記入してください。
 - 1) 「修了」、「退学(単位取得)」、「退学(年間在学)」、「在学中」のいずれかを以下の要領で記入してください。
 - A. 「修了」と記入する場合
修士課程および博士前期課程に対しては、次の(a)(b)を共に満たしている場合のみ「修了」と記入してください。
 - (a) 所定の単位を修得
 - (b) 修士論文の審査及び最終試験に合格博士後期課程に対しては、次の(a)(b)を共に満たしている場合のみ「修了」と記入してください。
 - (a) 3年以上在学(ただし、1年以上在学し、特に優れた研究業績をあげた場合を含む)
 - (b) 博士論文の審査及び最終試験に合格
 - B. 「在学中」と記入する場合
履歴書提出時点で在学中であるならば、「在学中」と記入してください。
明くる3月31日で退学または修了が予定されていても、「退学予定」、「退学見込」、「修了予定」、「修了見込」等の記述をしないこと。また、履歴書提出後、修了または退学した場合はその旨証明書を提出してください。
 - C. 「退学」と記入する場合
「修了」でない場合及び、「在学中」でない場合は、各大学の実状に従って、「退学(単位修得)」または「退学(年間在学)」と記入してください。
 - 2) 学位論文提出のため再入学した場合は、その旨記入してください。
大学の別科、専攻科については「学歴」欄に、研究生、聴講生等については「職歴」欄に記入してください。
外国留学については、学生としての留学の場合「学歴」欄に、研究生としての留学の場合「職歴」欄に記入してください。
- (8) 「職歴」は、
 - (1) 職歴のすべてについて記入してください。なお、各職歴については始期(自昭和 年 月 日)及び終期(至平成 年 月 日)を明確にし、現職については必ず「現在に至る」と記入してください。
 - (2) 無記入の期間がある場合は、無職とみなします。
- (9) 「学会及び社会における活動等」欄には、専攻、研究分野に関連した事についてのみ記入してください。なお、所属学会名は正確に記入してください。
- (10) 「賞罰」欄は、賞罰のない場合「なし」と記入してください。

2. 研究業績目録

「著書、学術論文等の名称」欄は、「 . 著書」、「 . 学術論文」、「 . 学会発表」、「 . 設計・制作・演奏・競技等の実技に関する業績」、「 . 特許」、「 . その他」に区分し、当該小見出しを記入の上、その区分ごとに番号(-1. -2.3 .)(-1. -2.3...)を付して、年代順(過去から現在)に記入してください。

ただし、その数が著しく多い場合には、適宜選択の上、記入してください。

- (1) 著書 辞典、事典、ハンドブック等の数項目のみを担当した場合は、「 . その他」に記入してください。
- (2) 学術論文 論文集、学術雑誌、学会機関紙、研究報告、紀要等に「学術論文」として発表したもののみ記入し、査読のある学術誌に掲載されたものについては、整理番号の下に下線を施してください。
- (3) 学会発表 学会レベルにおける口頭発表及び要旨発表等を記入してください。予報、抄録、要旨などが学術雑誌などに記載されたときは、その題名、発表年月、雑誌名、巻号を記入してください。
- (4) 体育、芸術等の専門で、実技や設計・制作、演奏に関する業績がある場合、または教育実践等に関して業績(実績)がある場合は、 に記載し、その場合のレベルが判るよう発表場所、競技大会名及び順位等を記載してください。
- (5) 特許・取得年月を記入してください。
- (6) 発行所、発表雑誌等または学会発表等の名称欄には発表学会等を明記してください。
- (7) 単頁の場合は、p. 、複数頁の場合は、pp. - と記入してください。
- (8) 共著の場合には、著者名欄に全員の氏名を当該論文等に記載された順に記入し、著書の場合については、本人の執筆部分を明記してください。
- (9) 印刷中、及び投稿中のもので掲載可のものは受理証明を添付してください。
- (10) 著書及び論文等の数が著しく多い場合には、適宜選択の上、5 編程度記入してください。